令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
国語	現代の国語	2	1年

使用教科書	新編現代の国語（大修館書店）	使用副教材	学習ノート・国語便覧・漢字トリプル

目標	実社会・実生活におけるさまざまな活動の基盤としての言葉の力を身に着け、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	6 (6)	1　ことばをひらく「この春、なにを始めよう」 校歌の4番を作ろう	（例）わかりやすく説明する
	5	5 (11)	2　日本語を使いこなす 言葉の使い分け　類義語　敬語	〇文中の語句や表現の働きを十分に理解し、例文を考えて使っているか。（知） 〇具体例の働きを理解し、その意図や効果について考えている。（知）
	6	9 (20)	「病院は繁盛するか」　　一学期中間考査 3　わかりやすく説明する　写真を見て説明する	〇問題提起とそれに対する答えの部分を的確に理解し、それに対する自分の意見をもっているか。（思）
	7	6 (26)	4　聞き取りのレッスン メモをとる　ミニインタビュー	〇全体の構成を的確に図解している。（思） 〇全体の要旨を、重要な要素を落とさずに端的にまとめている。（思）
	8	2 (28)	5　論理を読み取る	〇言葉や接続表現に強い関心をもち、例文を書くなど学んだことを生かそうとしている。（主）
	9	5 (33)	「人間はチンパンジーとゴリラのどちらにより近いか」 「オンリーワンかナンバーワンか」他　　1学期期末考査	※授業の様子、ワークシート、テストで確認
1学期計		(33)		
二学期	10	7 (7)	6　伝え合いのレッスン 対話のレッスン　「対話」	（例）伝え合いのレッスン
	11	8 (15)	7　説得力を高める 二学期中間考査	〇相手や場面に配慮して言葉使いや表現について理解し、話し方や身振り、表情、言外の意味なども意識して、効果的な表現を工夫している。（知）
	12	8 (23)	8　情報と向き合う 情報を吟味しながら読もう「情報の力関係」	〇相手の気持ちや反応を予想し、相手も自分も尊重しながら、話す内容や言葉遣い、表現などを考え、よりよい対話になるように工夫している。（思）
	1	4 (27)	9　他者を動かす	
	2	9 (36)	10　社会に目を向けて 二学期期末考査	〇対話の力やコミュニケーション力を高めることに関心をもち、学んだことを実生活やほかの学習場面などでも生かそうとしている。（主）
	3	1 (37)		※授業の様子、ワークシート、テストで確認
2学期計		37		
授業時間総計		(70)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
国語	言語文化	2	1年

使用教科書	新編言語文化（大修館書店）	使用副教材	学習ノート・国語便覧

目標	教材の読解を通して言葉と文化への理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる姿勢を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	5 (5)	自己紹介短歌　　春課題テスト 1ことばと出会う「言葉の森を育てよう」	（例）　ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」
	5	9 (14)	2表現を味わう「水かまきり」	〇漢字・語句等（知） 〇言葉の働きを理解しているか。（知）
	6	7 (21)	一学期中間考査 ①古文に親しむ 「いろは歌」「児のそら寝」	〇文章の種類を踏まえて内容等を的確にとらえているか。（思）
	7	5 (26)	3読書を楽しむ 読書感想文の書き方	〇筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使用する言葉を見つめ直そうとしているか。（主）
	8	3 (29)	夏課題テスト 4物語を受け継ぐ　古典から近代文学へ「羅生門」	※授業の様子、ワークシート、テストで確認
	9	5 (34)	1学期期末考査	
1学期計		(34)		
二学期	10	7 (7)	1漢文に親しむ　訓読のきまり　格言	（例）　漢文に親しむ 訓読のきまり・格言
	11	6 (13)	5ことばと生きる「祖母が笑うこと」	〇言語文化の特質や外国の文化との関係について理解し、古典を読むために必要なきまりについて理解しているか。（知）
	12	6 (19)	二学期中間考査 ②古文を楽しむ	〇作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもっている。（思）
	1	5 (24)	冬課題テスト 6近代文学に触れる「夢十夜」	〇漢文に興味をもち、学習内容を活用して他の漢文についても意欲的に読もうとしている。（主）
	2	5 (29)	2漢文を楽しむ 「五十歩百歩」故事成語 二学期期末考査	※授業の様子、ワークシート、テストで確認
	3	1 (30)		
2学期計		30		
授業時間総計		(64)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	歴史総合	2	1年A組

使用教科書	明解　歴史総合　　帝国書院	使用副教材	歴史総合図説　シンフォニア

目標	主に近現代の日本と世界の歴史を学び、今日の世界の多様性と変化を理解する。 理解したものをもとに、歴史的思考で現代を見ることができるようにする。 生徒の理解度を繰り返し確認し、適切な指導を日々実践する。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	4	各地域の諸文明	〇基本的事象を理解できたか（知）
		(4)	各地域の歩み　課題テスト	〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	5	8	第1部　歴史の扉	〇積極的に課題等に取り組んだか（主知）
		(12)	歴史と私たち	※知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	6	5	歴史の特質と資料	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主）
		(17)	中間考査	※学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	7	6	第2部　近代化と私たち	
		(23)	欧米諸国における近代化	
	8	2	近代化の進展と国民国家形成	
		(25)	アジア諸国の動揺と日本の開国　　課題テスト	
	9	4	近代化が進む日本と世界	
		(29)	期末考査	
1学期計		(29)		
二学期	10	5	第3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	〇基本的事象を理解できたか（知）
		(5)	第一次世界大戦と日本の対応	〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	11	8	国際協調と大衆社会の広がり	〇積極的に課題等に取り組んだか（主知）
		(13)	日本の行方と第二次世界大戦	※知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	12	7	再出発する世界と日本　　中間考査	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主）
		(20)		※学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	1	3	第4部　グローバル化と私たち	
		(23)	課題テスト　冷戦で揺れる世界と日本	
	2	6	多極化する世界	
		(29)	グローバル化のなかの世界と日本　学年末考査	
	3	0	まとめ	
		(29)		
2学期計		29		
授業時間総計		(58)		

令和8年度　シラバス

26年04月

教科	科目名	単位数	クラス
数学	数学Ⅰ	4	1年

使用教科書	数研 数Ⅰ/716 新 高校の数学Ⅰ	使用副教材	ポイントノート　数学Ⅰ

目標	数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	11 (11)	1章 数と式　1節 数と式の計算 課題ﾃｽﾄ	○正確に速く計算できたか （知)[提出物･ﾃｽﾄ] ○概念や原理･法則を理解し，数式や図に正しく表現できたか （知思)[提出物･ﾃｽﾄ] ○計算等の結果に対し，正しく数学的な判断や分析を下せたか （思)[提出物･ﾃｽﾄ] ○数や式･図形に対し，多面的にとらえ関連付けながら論理的に考察できたか(思)[提出物･ﾃｽﾄ] ○基本的な課題に真面目に取組んだか(主)[提出物] ○より難易度の高い課題に積極的に取組んだか （思主)[提出物] ○学習過程を振返り，考察を深めたり，評価･改善しようとしたか(主)[提出物]
	5	14 (25)	2節 1次不等式	
	6	15 (40)	中間考査	
	7	11 (51)	2章 2次関数　1節　2次関数のグラフ	
	8	4 (55)	課題ﾃｽﾄ 2節　2次関数の値の変化	
	9	10 (65)	期末考査	
1学期計		(65)		
二学期	10	14 (14)	3章 図形と計量　1節　三角比	一学期と同様
	11	12 (26)	2節　三角形への応用 中間考査	
	12	13 (39)	4章　集合と命題	
	1	10 (49)	課題ﾃｽﾄ	
	2	12 (61)	5章　データの分析 期末考査	
	3	2 (63)		
2学期計		63		
授業時間総計		(128)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
理科	科学と人間生活	2	1年A組

使用教科書	改訂版　科学と人間生活（数研出版）	使用副教材	改訂版　科学と人間生活サポートノート（数研出版）

目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	序章　科学技術の発展 第1編　物質の科学　第2章　衣料と食品	○積極的に授業に取り組み、発言したか。 （知・思・主）【授業】
	5	6 (13)	衣料と繊維　天然繊維 化学繊維　食品と栄養素　炭水化物	○正確に観察、実験に取り組めたか。 （知・思）【実験】
	6	8 (21)	タンパク質　脂質とその他の栄養素 中間考査	○科学に対する興味関心を高めたか。 （主）【授業・提出物】
	7	7 (28)	第2編　生命の科学　第1章　ヒトの生命現象 遺伝情報とDNA　生命活動を支えるタンパク質	○学習内容の理解と定着ができたか。 （知・主）【テスト・提出物】
	8	2 (30)	血糖濃度とホルモン　血糖濃度の調節と健康 免疫とからだの防御　免疫と健康	知…「知識・技能」、
	9	6 (36)	眼の構造とはたらき　光の情報と生命活動 期末考査	思…「思考・判断・表現」 主…「主体的に学習に取り組む態度」
1学期計		(36)		
二学期	10	8 (8)	第3編　光や熱の科学　第1章　光の性質とその利用 光の色　光の直進と反射　光の屈折と全反射	一学期に同じ
	11	9 (17)	光の分散と散乱　光の回析と干渉　電磁波 中間考査	
	12	7 (24)	第4編　宇宙や地球の科学　第1章　太陽と地球 日本の四季と気象災害　大気の大循環	
	1	5 (29)	地球を出入りするエネルギー　太陽系の天体 天体の運動と時間　天体の運動と海洋	
	2	8 (37)	終編　これからの科学と人間生活 年次末考査	
	3	2 (39)	テスト返却　春課題配布	
2学期計		39		
授業時間総計		(75)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
保健体育	体育	3	1年A組

使用教科書	0	使用副教材	ステップアップ高校スポーツ

目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	8 (8)	・オリエンテーション ・集団行動・体育理論・体つくり運動	○（知）技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の仕方などについて理解している。 ○（技）各単元における新たに学習する基本的な一連の動きを滑らかに安定させて行うことができる。 ○（思）課題解決の課程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ○（主）自己の状況に関わらず、仲間のプレーや取組みを讃えようとしている。
	5	9 (17)	・体育理論・体つくり運動 ・スポーツテスト	
	6	12 (29)	・スポーツテスト ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ	
	7	8 (37)	・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ ・クラスマッチ種目練習	
	8	2 (39)	・陸上競技（長距離走）	
	9	7 (46)	・陸上競技（長距離走） ・現代的なリズムのダンス	
1学期計		46		
二学期	10	10 (10)	・陸上競技（長距離走） ・現代的なリズムのダンス	一学期と同様
	11	9 (19)	・バスケットボール	
	12	10 (29)	・バスケットボール	
	1	18 (47)	・体育理論・バスケットボール　・ウィンタースポーツ ・バドミントン	
	2	9 (56)	・バドミントン　・ウィンタースポーツ ・体育理論	
	3	1 (57)		
2学期計		57		
授業時間総計		(103)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
保健体育	保健	1	1年A組

使用教科書	現代高等保健体育	使用副教材	現代高校保健体育ノート

目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	2 (2)	1単元　現代社会と健康 ○オリエンテーション 1. 健康の考え方と成り立ち	○個人における健康・安全について理解できたか（知）「課題提出・テスト」 ○社会生活における健康・安全について理解できたか（知）「課題提出・テスト」
	5	5 (7)	2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康	○健康について、自他の課題を発見し解決に向けて思考し判断することができたか（思） ○健康について、社会の課題を発見し解決に向けて思考し判断することができたか（思）
	6	3 (10)	○授業の復習 ○1学期中間テスト	○健康について、自他の課題を発見し解決に向けて思考し目的や状況に応じて他者に伝えることができたか（思）「発表・テスト」
	7	2 (12)	8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康	○健康について、社会の課題を発見し解決に向けて思考し目的や状況に応じて他者に伝えることができたか（思）「発表・テスト」
	8	1 (13)	10. 飲酒と健康	○自他の健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を考察することができたか（主）「課題提出・テスト」
	9	3 (16)	11. 薬物乱用と健康1 11. 薬物乱用と健康2 ○1学期末テスト	○自他の健康を支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を考察することができたか（主）「課題提出・テスト」
1学期計		(16)		
二学期	10	1 (1)	12. 精神疾患の特徴と予防	1学期に同じ
	11	4 (5)	13. 精神疾患からの回復 14. 感染症の予防 15. 性感染症・エイズとその予防 ○2学期中間テスト	
	12	3 (8)	16. 健康に関する意思決定・行動選択 17. 健康に関する環境づくり 2単元　安全な社会生活 1. 事故の現状と発生要因	
	1	2 (10)	2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全	
	2	4 (14)	4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法 ○年度末テスト	
	3	(14)		
2学期計		14		
授業時間総計		(30)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
芸術	音楽Ⅰ	2	1年

使用教科書	高校生の音楽1	使用副教材	高校生のための音楽研究ノート

目標	芸術的な能力を伸ばし、音楽を表現するために必要な技能を身に付けるようにし、愛好する心情を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	5	オリエンテーション	○曲種に応じた発声、身体の使い方が理解出来たか（知・思） ○歌詞の意味を理解し、表現出来たか（知・意） ○作家達の生い立ち、歴史的背景が理解出来、音楽の美しさを味わって聞くことが出来たか（知・思・主）[提出物] ○音符の長さを理解し、リズム作りが出来たか（知・思）[提出物] ○映画音楽のストーリー（絆・思いやり）と音楽の美しさを鑑賞出来たか（思・主）[提出物] ○世界には多種多様の音楽と楽器があることが理解出来、鑑賞出来たか（知）[提出物] ○課題に積極的に取り組み、工夫と改善をしようとしたか（主）
		(5)	校歌	
	5	8	日本とオーストリア音楽を歌う	
		(13)	イタリアとオーストリア音楽言えのCD鑑賞	
	6	8	映画音楽DVD鑑賞（ディズニー）	
		(21)	日本とイタリア音楽を歌う	
	7	6	自由CD鑑賞	
		(27)	音符と拍子についてとリズム作り	
	8	2	器楽（ピアノ、キーボード、ギター）	
		(29)	世界の音楽のCD鑑賞	
	9	4	ドイツ音楽家のCD鑑賞	
		(33)	実技テスト（歌唱）	
1学期計		(33)		
二学期	10	6	日本音楽を歌う	一学期と同様
		(6)	3・4拍子のリズム作り	
	11	6	ドイツ音楽家CDのストーリー作り	
		(12)	ドイツ音楽家のCD鑑賞	
	12	6	映画音楽DVD鑑賞（ディズニー）	
		(18)	自由DVD鑑賞	
	1	6	クリスマスソングを歌う	
		(24)	器楽（ピアノ、キーボード、ギター）	
	2	4	西洋音楽家調べ	
		(28)	実技テスト（器楽）	
	3	0		
		(28)		
2学期計		28		
授業時間総計		(61)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
美術	美術Ⅰ	2	1A

使用教科書	光村図書	使用副教材	

目標	①制作活動を通して美的体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ②美術を愛好する心情を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	5 (5)	○オリエンテーション ○平面構成	○材料や用具の扱い方を身につけられたか。（知） ○課題を理解し、発想や構想ができたか。（思）
	5	8 (13)	・色での感情表現。 ○デッサン	○工夫して表現できたか。（知・思） ○主体的に美術の活動に取り組んだか。（主）
	6	8 (21)	・ものの形を正確に捉える。 ○静物画	○作品を鑑賞し、見方や感じ方を広げられたか。（主）
	7	6 (27)	・油彩による絵画制作。 ・油絵の具の特性を理解する。	
	8	2 (29)	○グラス絵付け ・夏らしいデザインを考える。	
	9	4 (33)	○オリジナル手ぬぐい制作 ・手ぬぐいの歴史を学ぶ。	
1学期計		(33)		
二学期	10	6 (6)	○読書感想画 ・本・主題の設定。	1学期と同様
	11	6 (12)	・油彩による絵画制作。	
	12	6 (18)	○キャンドル制作 ・「あかり」の機能とデザインを考える。	
	1	6 (24)	○ペーパーナイフ制作 ・機能とデザインが融合した作品を作る。	
	2	4 (28)	・切り出しナイフの使い方を理解する。	
	3	0 (28)		
2学期計		28		
授業時間総計		(61)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
英語	英語コミュニケーションⅠ	4	1年A組

使用教科書	Revised Amity English Communication Ⅰ（開隆堂）	使用副教材	

目標	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を把握したり、要点を捉え、考えや気持ちなどを伝えることができる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	10	課題テスト、GET READY1～4	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(10)	Lesson 1 The Beautiful Scenery	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	5	11		
		(21)	Lesson 2 My Best Friend	
	6	16	中間考査	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(37)	Lesson 3 Love for Dance	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	7	12		
		(49)	Lesson 4 Endangered Species	
	8	6	課題テスト	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(55)		○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	9	9	期末考査	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(64)	Lesson 5 The History of Chocolate	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
1学期計		(64)		
二学期	10	14		
		(14)	Lesson 6 Our School	
	11	13		
		(27)		○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	12	14	中間考査	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(41)	Lesson 7 Serendipity	
	1	10	課題テスト	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(51)	Lesson 8 Sapeurs	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	2	14	Lesson 9 Special Makeup Effects	
		(65)	年度末考査	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	3	2	テスト返却、春課題配付	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(67)		
2学期計		67		
授業時間総計		(131)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
家庭	家庭総合	2	1年

使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ家庭総合（教育図書）	ウェルビーイングにつなぐ家庭総合マスターノート

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	5 (5)	学習を始めるにあたって（ガイダンス） B編　第2章　衣生活と健康	
	5	8 (13)	1　衣服の役割　2　衣服の材料・構成 3　衣服製作（エプロン：実習）	
	6	7 (20)	4　衣服の計画・管理　5　今後の衣生活 中間考査	
	7	5 (25)	生涯の生活設計1 A編　第1章　青年期の自立と家族・家庭	
	8	2 (27)	1　自立　2　家族・家庭 A編　第4章　共生社会と福祉	
	9	7 (34)	1　共生　2　ノーマライゼーション 期末考査	
1学期計		(34)		
二学期	10	6 (6)	A編　第3章　高齢期の生活と福祉 1　高齢者の心身の特徴と生活	
	11	6 (12)	2　高齢化の現状と課題 中間考査	
	12	6 (18)	3　介助・介護技術の基本と心構え ”介助実習”	
	1	4 (22)	C編　第1章　消費生活と経済計画 1　契約と支払い・返済方法	
	2	6 (28)	2　消費者問題と消費者を守る仕組み 年度末考査	
	3	1 (29)		
2学期計		29		
授業時間総計		(63)		

令和8年度　シラバス

26年04月

教科	科目名	単位数	クラス
情報	情報Ⅰ	2	1年

使用教科書	日文 情Ⅰ 711 情報Ⅰ 図解と実習	使用副教材	実教 30時間でﾏｽﾀｰ word&Excel2019，日本情報処理検定協会 文書ﾃﾞｻﾞｲﾝ検定試験 模擬問題集 3･4級編

目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	5 (5)	第1章　情報社会とわたしたち 第1節□情報社会を見渡してみよう	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解しているか。(知)[提出物･ﾃｽﾄ]
	5	5 (10)	第2章　コミュニケーションと情報デザイン 第1節□メディアとコミュニケーション	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いているか。(思)[提出物･ﾃｽﾄ]
	6	7 (17)		
	7	6 (23)	第2節□情報デザイン	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしているか。(主)[提出物]
	8	1 (24)		
	9	4 (28)	第3節□情報のデジタル化	
1学期計		(28)		
二学期	10	6 (6)	第3章　コンピュータとプログラミング 第1節　コンピュータのしくみ 第2節　アルゴリズムとプログラム	一学期と同様
	11	7 (13)		
	12	7 (20)	第3節　モデル化とシミュレーション	
	1	3 (23)	第4章　情報通信ネットワークとデータの活用□ 第1節　情報通信ネットワークのしくみ	
	2	7 (30)	第2節　情報システムとデータベース 第3節　データの活用	
	3	0 (30)		
2学期計		30		
授業時間総計		(58)		

令和8年度　シラバス

26年04月

教科	科目名	単位数	クラス
金山タイム	金山タイム	1	1・2・3年次

使用教科書	なし	使用副教材	各講座ごと

目標	（1） 生徒が生まれ育った地域の人達から学び、地域への愛着心を育て、地域に貢献したいという気持ちを育む。 （2） 地域の様々な達人とふれあい、好ましい人間関係のあり方を学び、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を身につける。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	0 (0)		○事前の学習・準備(主) ○目的意識と姿勢・積極性(主)
	5	1 (1)	オリエンテーション（1）	○講師への礼儀や態度(主) ○協調性(主)
	6	6 (7)	第１回活動（6）	○活動記録やまとめの整理(知) ○活動成果の明確化(思)
	7	6 (13)	第２回活動（6）	○成果や課題の整理と表現・伝達(思) ○活動を振返り，考え方や見方の変化を明確にとらえる(主)
	8	0 (13)		
	9	6 (19)	第３回活動（6）	
1学期計		(19)		
二学期	10	13 (13)	第４回活動（6） ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ準備（4）、ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（3）	
	11	0 (13)		
	12	0 (13)		
	1	0 (13)		
	2	0 (13)		
	3	0 (13)		
2学期計		13		
授業時間総計		(32)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
最上学	最上学	1	1年A組

使用教科書		使用副教材	

目標	郷土を支える人材としての自覚を促し、地域に貢献しようとする心を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	4 (4)	高校生活の基本を確立させる ・クラスづくり、集団づくり　・自己理解	
	5	3 (7)	・身だしなみ、生活習慣の確立 ・研究方法を学ぶ	〇研究テーマにそって計画的に 調査・研究を進めることができたか（知）
	6	9 (16)	・「KATARIBA」1回目（他県の高校生とONLINE交流） ・課題を設定し、調査・研究	〇研究を分かりやすくまとめ発表することができたか（思）
	7	13 (29)	・レポート作成 ・上級学校見学会	〇他者の研究を理解し、適切に自己評価できたか（主）
	8	2 (31)		
	9	4 (35)	・発表・評価 ・発表、自己評価	
1学期計		(35)		
二学期	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
2学期計				
授業時間総計		######		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
総合的な探究の時	卒業研究Ⅰ	1	1年A組

使用教科書	0	使用副教材	0

目標	課題別学習を通して、2年次以降の卒業研究の取り組み方や学習方法を身につける。 まとめ方や伝え方を自ら考え、実践する態度を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	0 (0)		
	5	0 (0)		
	6	0 (0)		
	7	0 (0)		
	8	0 (0)		
	9	0 (0)		
1学期計		(0)		
二学期	10	4 (4)	・職業調べ ・「KATARIBA」2回目（他県の高校生とONLINE交流）	
	11	10 (14)	・発表、自己評価 ・自己理解	〇研究テーマにそって計画的に 調査・研究を進めることができたか（知） 〇研究を分かりやすくまとめ発表することができたか（思）
	12	6 (20)	・校内プレゼンテーション（3年次発表）参観 ・テーマ設定、調査・研究	〇他者の研究を理解し、適切に自己評価できたか（主）
	1	3 (23)	・発表資料作成、発表準備 ・「KATARIBA」3回目（他県の高校生とONLINE交流）	
	2	9 (32)	・発表・評価	
	3	0 (32)		
2学期計		32		
授業時間総計		(32)		